

B+COM 6X ヘルメット取付資料



X3000

(クイックマニュアルと併せてご覧ください)



AGV X3000

①準備



用意するもの

| No | 名称 | 数量 |
|----|------------------------|----|
| ① | B+COM SB6X 本体ユニット | 1 |
| ② | スピーカー | 1 |
| ③ | ワイヤーマイク | 1 |
| ④ | ワイヤーマイク用スポンジ | 1 |
| ⑤ | ベースプレート | 1 |
| ⑤ | ワイヤークリップ (クリップで使用する場合) | 1 |
| ⑤ | 保護ラバー (クリップで使用する場合) | 1 |
| ⑤ | 面ファスナー (貼付で使用する場合) | 1 |
| ⑥ | スピーカーハーネス固定用クリップ | 1 |
| ⑦ | スピーカー固定用面ファスナー | 2 |
| ⑧ | スピーカー固定用調整パッド | 4 |



スピーカー裏面へベルクロフック (硬い方) を貼り付ける。



ベース貼り付け用面ファスナーを取り付けます。



ヘルメットは帽体と内装の隙間が少なく、ワイヤークリップベースの取付にはあまり適していません。



AGV X3000

②スピーカーの取付



チークパッドと一体になっている内装を取り外します。



ヘルメット右側の耳の位置に面ファスナーを貼り、スピーカーを取り付けます。

<重要>



スピーカー位置の微調整をします。耳とスピーカーの間に隙間がある場合、必ずスピーカー調整スポンジで調整してください。
 ※チンストラップ側のV字ラインに寄せるのがコツです。
 ※スピーカーの中心と、耳穴の中心が合う状態がベストです。



ヘルメット後方のスナップ2つを外し、配線をスナップの内側に通します。



左側も同様にスピーカーを取り付けます。



配線が余る場合には、スナップやスピーカーの周囲に巻き付けるようにして長さを調節してください。



AGV X3000

③ マイク取付



ワイヤーマイク用スポンジを貼り付けます。

※マイクスポンジを貼り付ける位置は調整が必要です。
風切り音等を拾う場合には、位置を変えてください。



ワイヤーマイクを挿し込みます。

※マイクの向きに注意してください。
裏表を逆にすると、音声を拾い難くなります。
(穴の空いている面が集音側です。)



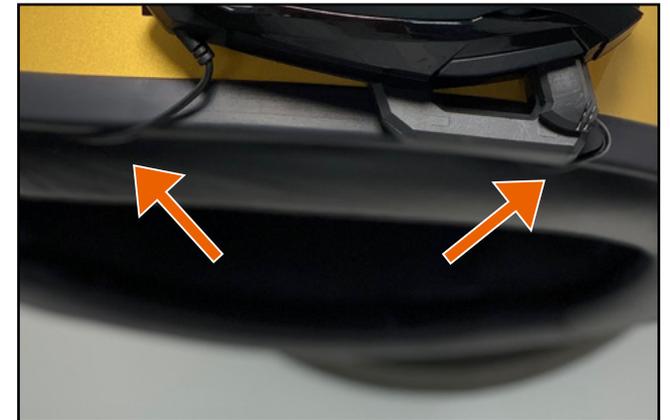
ヘルメットの内装を元に戻します。



ワイヤーマイクは、チークパッドのフックの内側を通すと、
配線の遊びを減らすことができます。



マイクとスピーカーの配線は、図の内装の隙間から通し、
帽体の淵に潜り込ませると、綺麗に取りまわせます。



出来るだけ配線に負担がかからないよう、ご注意ください。



AGV X3000

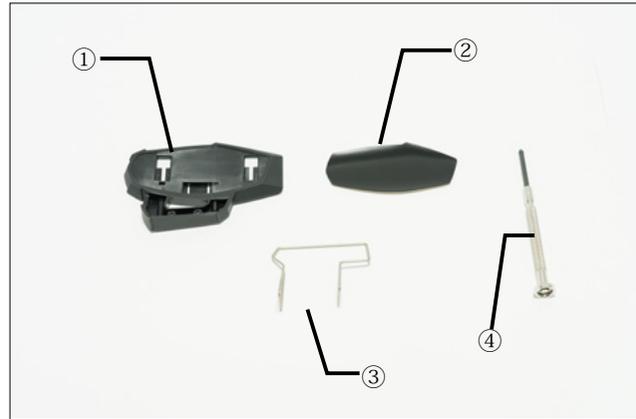


本体を取り付けます。



以上で完成です。

ベースプレートの組立①



用意するもの

| 名称 | 数量 |
|-------------------|----|
| ①ベースプレート本体 | 1 |
| ②保護ラバー | 1 |
| ③ワイヤークリップ | 1 |
| ④プラスの精密ドライバー (#1) | 1 |



保護ラバーを貼り付ける前に、貼付箇所を脱脂します。



保護ラバーを貼付部の角に合わせて貼り付けます。



全体に浮き等がないようにしっかりと貼り付けます。

ベースプレートの組立②



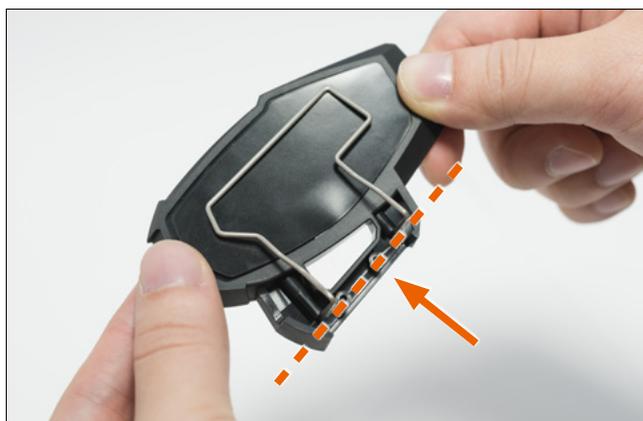
ドライバーを使用してワイヤークリップホルダーとプレート
を固定しているネジを2箇所外します。



ワイヤークリップホルダーを取り外します。



2箇所の穴へ、矢印方向にワイヤークリップを差し込みま
す。



ワイヤークリップは上図のように壁に当たるまでしっかり
と押し込みます。



ワイヤークリップホルダーをガイドに沿って取り付けま
す。



ドライバーを使用してプレートとワイヤークリップホル
ダーを固定します。

ベースプレートの組立③



ネジを締め終わったら必ずプレートとワイヤークリップホルダーの間に隙間がないことを確認して下さい。

<注 意>

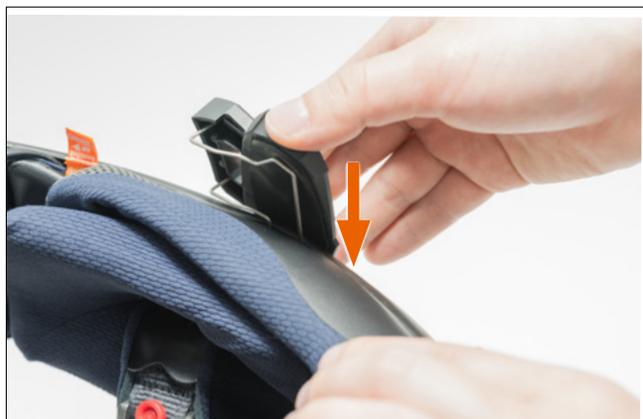


プレートとワイヤークリップホルダーの間に隙間がある状態でヘルメットに取り付けで使用されますと、ベースプレートが破損し、最悪の場合、本体が脱落する危険が御座います。



完成。

ベースプレートの取付手順



ベースプレート先端をヘルメットの縁に押し付けながら矢印方向へ押し込みます。

《ご注意下さい》

ワイヤークリップ部分を大きく広げてのお取付けは必要以上の負荷が掛かり、ベースプレートの破損原因となります。



矢印の方向に回しながら押し込みます。



縁にしっかりと当たるまで押し込み完了です。